

# 県産果実残さ等飼料化推進事業

## 1. 事業の概要

県では、白桃などの果実の生産が盛んであり、その加工品も多く生産されていますが、加工後の残さは大部分が産業廃棄物として処理されている現状があります。

一方で、県内では畜産物のブランド化の機運が高まっており、県産食肉の高付加価値化に向け、特徴ある畜産物の生産体制について検討がなされています。

こうした問題の解消のため、産業廃棄物として処理される果実残さ等、特に白桃の加工残さを飼料化し、岡山県特産の白桃を給与した畜産物という特長づけを行うことで、廃棄量の削減と、畜産物の高付加価値化の両立を目指して、活用の方法を検討しています。

## 2. 事業内容

### (1) 試験製造

県産白桃を活用した加工品を製造する業者に対して、白桃残さの発生量の調査を行いました。

また、実際に白桃残さを確保し、白桃残さ飼料の製造を行いました。白桃残さだけでは水分量が高く、調整・保存に不向きであったため、県産米粉と混合することで飼料として活用しています。

### (2) 利用拡大対策

白桃残さ飼料の利用を促進するため、より扱いやすい形態での流通及び使用方法について検討を行いました。

検討の結果、養豚用飼料において、流通段階で既存の飼料に添加を行うことで、使用する現場での負担軽減が可能となり、使用量の増加につながりました。

また、牛の肥育においては、白桃残さ飼料を給与した交雑牛をブランド展開しています。



【白桃残さ飼料】

## 3. 白桃残さ飼料製造及び供給の実績

R2年度白桃残さ確保量及び飼料製造量

確保量(kg)	製造量(kg)
3,163	31,450

R2年度白桃残さ飼料供給量

供給農家	供給数量(kg)
肥育農家(9戸)	3,200
養豚農家(1戸)	29,640
合計	32,840

※前年度の試験での製造分を含む



白桃残さ飼料を給与したF1牛肉

## 担当部署

農林水産部畜産課 経営流通班